

平成 30 年 11 月定例教育委員会会議録

1. 開催日時 : 平成 30 年 11 月 27 日 (火) 9 時 00 分から 10 時 50 分まで
2. 会 場 : 臼杵市役所 臼杵庁舎 3 階 臼杵庁舎 301 会議室
3. 出席委員 : 教育長 齋藤 克己
教育長職務代理者 垂井 美千代
委 員 渡辺 義弘
委 員 野上 美智子
委 員 神田 岳委 (欠席)

4. 出席職員

教育総務課長	甲斐 尊		
社会教育課長	大戸 敏雄	文化・文化財課長	川野 徳明
学校給食課長	安東 信二	教育総務課総括課長代理	麻生 幸誠
学校教育課総括課長代理	口石 愛	社会教育課課長代理	那賀 啓史
文化・文化財課課長代理	神田 高士		
教育総務課主査	米木 淳子	教育総務課主事	姫野 まりな

5. 傍聴人 なし

1. 開会宣言

(事務局)

開会に先立ちまして、本日の出席者の報告を行います。本日の出席者 4 名、欠席者 1 名で、出席者が過半数に達しましたので、臼杵市教育委員会会議規則第 3 条の規定により本会は成立となりました。以上、報告いたします。

(教育長)

これより臼杵市教育委員会、平成 30 年 11 月定例会を開催致します。本日の委員会の会期は、本日限りといたします。次に、会議録署名委員に、渡辺委員と野上委員の 2 名を指名致します。

今回の日程のうち、

- ①「報告第18号」の「専決処分の承認を求めることについて」、
- ②「報告第19号」の「臼杵幼稚園の方針の継承について」、
- ③「第32号議案」の「指定管理者の指定について」、
- ④「第33号議案」の「平成30年度補正予算（12月定例会市議会）について」
及び
- ⑤「6. その他」の「幼稚園について」

以上の5つを非公開としたいので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項に基づき、採決を行います。

賛成の委員は、挙手をお願いします。

(委員 挙手あり)

3分の2以上の挙手がありましたので、公開しないこととします。

2. 教育長報告

それでは、次第に沿って、2の教育長報告をいたしたいと思います。

昨日最後の学校訪問でした。大変お疲れ様でした。県の大会の研究発表があつて、大変な月でした。博報賞受賞、地域学校教育活動で川登小が文部科学大臣賞を受賞、あるいはロボコンで北中が九州大会に出場しました。学校新聞コンクールで審査員特別賞をいただいたという記事を見ました。

1日は大分教育の日、竹田で今回は行われました。お手元にエッセーの最優秀賞で南中の河野葵さんが最優秀賞に選ばれました。少し早口になって緊張していたが、立派な朗読でした。この日北中の研究発表、下南と南野津の研究発表に参加させていただきました。これまでの研究の成果が見られたかなと思います。3日は、文化の日表彰式、今年は3名の方が表彰されました。5日に大分大学教育学部OBの方の会の豊友会図書寄贈ということで、臼杵図書館と野津の図書館に合わせて54冊いただきました。同日、定例の校長会がありまして毎年この時期、来年度の人事方針、特に管理職の受験のお願いと土曜ふれあい学校の見直しを検討しています。6日から26日まで学校訪問でした。6日は下藤のキリシタン墓地を姿が見られる、埋め戻す前の状態で文化財課の神田の説明を受け視察しました。8日に県の研究大会があつて市民会館で行われました。小中学校は市浜と西中が研究発表をしています。6日から臼杵小学校が受賞した博報賞の授賞式で、全国17団体のうち、国語・日本語部門を読書の街づくり活動が受賞しましたので授賞式に行きました。県の進路指導、キャリア教育研究大

会が中央公民館で福良と南中の発表がありました。

11日がマレガプロジェクトの史料講座で私は参加できませんでしたが、後ほど説明があるかと思います。15日、県の高校総合文化祭県南・豊肥大会が市民会館で15・16日にありました。県内から高校の優秀な発表がありました。学校施設、教職員の職場環境、来年度予算に向けてお話をさせていただきました。毎年しています。17日と次の週の勤労感謝の日、この日に中学校の文化祭がありました。北中、東中がありました。23日は野津中・南中・西中を回りました。19日は、第2回歴史資料館運営委員会がありました。歴史資料館が開館して5周年を迎え、展示の方法を変えようということで協議してきました。来年の4月末から歴史の流れを展示できるようにしようということになりました。

20日第二回土曜日実施ふれあい検討会、内容の見直しがありました。同日、臼杵の石仏ネットが保健文化賞を受賞して祝賀会を行いました。21日に博報賞受賞で県の教育長の方に臼杵小の桑原校長と山本教頭と報告に行きました。合わせてこれからの人事の件等もお話しました。それから、毎年なんですけど臼津法人会から税に関するマンガ本とクリアファイルを小学校6年生全員分を寄贈いただきました。人材育成市民連携会議もありまして、今年度の取り組みについて話しました。22日は社会教育委員会議、今年度の取組とまなびリストの対応について協議させていただきました。24日、キリシタン文化と大友宗麟講演会がありました。市民会館の大ホールでしたが、会場に300~400人は入った報告を受けています。25日が日曜日ですが、国民文化祭、障害者芸術文化祭の閉会式ということでいいちコグランドシアタでありました。10月6日から開催されていまして。次回は新潟県ということで、そこに引き継ぐ行事もあります。昨日はまち、人、仕事創成本部会議があり、移住定住促進について今年度の総括と、来年度に向けての会議がありました。今日は、臼杵摩崖仏保存修理委員会で、ホキ石仏第2群の覆屋の工事について、今後の活用についての話をするようになると思います。明日、博報賞受賞について市長に報告して、ロボットコンテストに北中が出場しますのでその報告をします。29・30日に小学校、中学校の音楽祭があります。

以上で報告を終わります。

(野上委員)

竹宵のところで、他県の人が、真光寺で西中の子たちが手伝っているのを見たり、小学生の作品があるところを、あれはいいね、子供たちが育てられている、と褒めてくれたのと、2時間で片づけてしまうというのはいつかどこかで報道してもらえたらいいことだと思います。

(教育長)

ありがとうございました。

(垂井委員)

2日に、甲斐課長と一緒に南野津小の発表会に行ってきました。シェア活動として、分からないから教えあうということなんですけれども、各学年ともに頑張ってきましたし、授業も良かったと思います。博報賞ですが、国語教育に掲載されるということで、ものすごく歴史のある本で、そこに掲載されるのは改めてすごいなと思いました。

キャリア教育では、南中の発表を見たんですが、中央公民館の発表も朗々としていて、場慣れているな、という感じでしたし、学校での授業も落ち着いていて良かったなと思いました。18日の上北ふれあい祭りは、児童の発表の中に関わって支えてくださる、コメ作りとか、パトロールとか、色々支えてくれる人への感謝がいっぱい。地域への感謝と誇りがいっぱい、6年生は将来の上北を描くという発表があって、6年生の人数が少ない中、残りたいははっきり言いました。感謝でいっぱいの交流会で良かったなと思いました。

3. 協議事項

(非公開)

4. 学力向上について

(教育長)

第4の学力向上について、説明に入りたいと思います。「『臼杵っこ育ての羅針盤』の実践について」説明をします。

(教育総務課長)

今年度は、臼杵っこ育ての羅針盤について具体的に具現化していくのが目標となっていて、講演会や加え、幼保小交流ということで、具体的に幼児教育の現場と臼杵小の現場がつながる講演会を実施しまして、表に書いている通り、先陣を切る形で桑原校長の臼杵小のほうで取り組みを行っていただきました。これまでも、交流を催していたようですが、今回は規模を広げて、臼杵小の近隣にある4園との交流を大規模に行いました。

振り返りについてですが、臼杵っこ育ての『羅針盤』の中で、小学校教育とのつながりを実践する形ととらえています。目的である、子どもどうし・先生どうしの交流・連携も十分に達成でき、本交流会が幼保から小学校への滑らかな接続の一つになることが考えられます。

今後について、この取組は、幼児教育と小学校教育の滑らかな接続の効果を考慮すると、今後も引き続き、小学校とその近隣園との交流を推進し、活動の定着化・活性化を図ってきたい。今回の取り組みについて、12月開催の臼杵市幼保小連携推進委員会において実践報告を行い、子どもの育ちをつなげるとともに、他のブロックごとの幼児教育に携わる者どうしの連携を深めていきたい。

3 ページ目以降については、渡辺先生の幼児教育研修だよりを添付していますので、後ほどご覧ください。以上で報告を終わります。

(教育長)

只今の説明に関して、何かご意見はありませんか。

(渡辺委員)

今ちょうど、ケーブルで流れていますよね。

(垂井委員)

渡辺さんの報告の一番下の、「園と小学校が少しずつつながりを深められるといいなと思います。」がいいですね。新2年生が、お兄ちゃんお姉ちゃんになるんだという自覚を持ち、園児が、年長さんがここにくるんだ、と。これは素晴らしいですね。ぜひ各学校に。

(教育長)

他のブロックに広めることが大事だと思います。海辺小と海辺保育園は交流できやすいですね。

5. 教育予算等について

要望等ありましたら。補正や、来年度予算に向けてあればお願いします。何か気が付いたらお願いします。

6. その他

それでは、「6. その他」に移ります。

「国民文化祭について」を文化・文化財課より説明します。

(文化・文化財課長)

資料はありません。報告のみいたします。まず、下藤キリシタン墓地の特別公開についてです。これは、11月4日、10日、23日の3日間行っています。延べ100名程度がみえられました。中身はご存知だと思いますが、このような歴史的なものが残っている、ということについての感想的なお話を皆様から聞いています。今後は、12月以降に埋め戻しをし、今後何年後というのが分かりません。9時半と10時半の2回現地説明会を行いました。

毎年行っている巡礼ツアーについてですが、旅行者による巡礼ツアーは、今回は2泊3日で臼杵市に宿泊していただきました。この方々が14名くらいですが、東京、千葉から来

ていただいて、帰るときに日出に寄っていただいたんですけれど、神田が現地説明等をし、臼杵にはすごい財産がある、ということと、それを活用した観光ルートも作っていただければとお話を聞いております。巡礼ツアーについては毎年、旅行者とやっていきたいと思っています。

11月11日に行ったマレガプロジェクトの資料講座です。これには、臼杵中央公民館の大ホールにて、150名程度の方がみえられました。講座を3つやっております、東大の名誉教授である小野井先生にキリスト教の布教から追放について、全体的なお話をいただいています。講座2として、前文化財課長である高田高校の佐藤校長先生に、マレガ史料からキリシタン近世ということで、マレガプロジェクトの進行状況の話と、プロジェクトの史料の中から、臼杵藩がどんなキリシタン禁止政策をとってきたのか、というお話を聞いております。

講座3では、国文学研究学資料館准教授の太田先生から講座を受けています。臼杵藩の踏み絵についての文書がありますので、どんなふうに読み砕いていくのかの講座をやっています。三講座は、長時間に及んだんですが、皆さんに興味深く聞いていただき、いい講座になったと思います。来年も、マレガプロジェクトと組みながら講座を進めていきたいと思っています。その中で、臼杵藩の状況が分かってくればまた報告していきたいと思っています。

11月24日に、奈良大学の仙田先生を招き、講演会を行いました、キリシタン文化と大友宗麟という形で、町中の中央町会等に動員をお願いして参加していただきましたが、全体的には臼杵市の成り立ち、臼杵城の価値の在り方について、お話をいただいて、ディスカッションでは臼杵高校生2名が、登壇いただいて仙田先生に質問をしていただきました。将来的に、街並み等についてどうのことを考えていけばよいのでしょうか、という質問について臼杵の街並みを見直すいい提案を仙田先生からいただいたのではないかと思います。これを受け、来年度の当初予算で仙田先生を呼んで、座談会的なものを検討できないかということで予算確保に向けた取り組みを行ってきたいと思っています。余談ですが、11月6日に教育委員の皆さんに下藤キリシタンに来ていただいたことを受け、神田委員にOBSに紹介していただき、11月21日に、旬感3chに、下藤キリシタン墓地の取材をしていただき、放送していただきました。神田委員は今日お休みですが、神田委員のご尽力によるところがありましたので、報告させていただきます。以上です。

(教育長)

VRはどうなっていますか。

(文化・文化財課長)

下藤キリシタン墓地のVRにつきましては、12月中には完成する予定で、1月には公開できるようになっていますので、目玉としては、墓地集会所の十字架の部分と、洗礼所、墓

石がどういう風にできるか、というビデオが大変面白いものになっていくのではないかなと思います。

(教育長)

VRができれば、皆様にもご紹介したいと思います。

(野上委員)

先日、都市デザインと県土木の関係で、国交省の人との交流会、懇親会がありました。風景街道というのがあって、平成12年か14年に決まって、進めているんですけど、大分は国東から佐賀県まで、南は佐伯から宮崎、鹿児島まで風景街道がずっと続いていて、臼杵と津久見のところが途切れているんです。そこを取組もうという話が出ていて、A、B、C案が出ていて、そこに宗教をメインにした、お城から石仏行って、下藤行って、高千穂に繋いでいくとか、そういうラインがあったり、ふぐとかおいしいものラインを作るとか、事業として認められると費用が出てくるようなんです。ですから、都市デザインさん、国交省の置いた事務所の方たちと連携をとると、もっといいと思います。下藤のことも言っていましたが、経済的なことを考えると、観光バスを通して、お土産屋さんを作ればいいのかありますが、いろんな先生方の考えられるのは、隠れキリシタンなので、道はそのままにして、穏やかな史跡にしたほうがいいのか、そういった討議があるみたいで、そこらへんも一緒にやられるといいのかなと気がしました。

(文化・文化財課長)

ありがとうございます。

(教育長)

「川登小「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣受賞について」の説明をお願いします。

(社会教育課長)

川登小学校区青少年健全育成会が、「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰内定を先般受けたところです。取り組みの内容としては、

- ・川登紙漉き保存会の協力で手作りの卒業証書作成
- ・「二孝女物語」を通じた交流やふるさとの「郷育」
- ・地域資源である「風連鍾乳洞」でのガイド活動
- ・野津中央公民館がコーディネーター役

等々が地域活動として認められ、内定を受けました。来月3日に東京で表彰式を受けます。

(教育長)

昨年の下ノ江に引き続きの受賞です。12月3日に、東京で表彰式があります。よろしいですか。

それでは、「幼稚園について」を教育総務課より説明します。

(非公開)

会議録署名委員

会議録署名委員

会議録作成者
